

# いずみのひろば

2022年1月号

日本基督教団 聖公会  
No. 516 教会学校



## 『一番最初のクリスマス』

ルカによる福音書2：1-7

2千年以上前のことです。「みんなふるさとで町に帰るように」という王さまの命令がくだりました。住民登録をするためです。税金を集めるため、戦争に行く兵士の数をかぞえるためでした。家や仕事はほっぽり出して、国中の人がいっせいに帰らないといけません。バスも電車もない時代です。荷日もかかる苦しく危険な旅でした。

お腹の大きなマリアさんもヨセフさんといっしょにこの辛い道を歩きました。ゆつくりゆつくり、荷日も歩いてやつとふるさとベツレヘムに着きました。ところが宿屋は先に着いた人達でもう一杯！泊る所なんかありません。

それでもあっちこち探してやつと屋根のある所を見つけました。暗い馬小屋です。そしてきたなくて臭い馬小屋でイエスさまはお生まれになりました。

どうして救い主イエスさまは立派なお城のふかふかのベッドではなく、暗くきたない馬小屋で生まれ、かいばおけに寝かされているのでしょうか。かわいそうです。でもそれが神さまのお考えでした。

イエスさまは一番弱い小さな姿で、暗く汚い馬小屋に来てくださいました。

もう弱くいろんな不安を抱えている人たちはひとりぼっちではありません。

いつも救い主イエスさまがいっしょにいてくださるからです。

